

外国語教育メディア学会（L E T）関西支部中学高校授業研究部会・  
京都教育大学英語の教え方研究会 主催

## 2016年度 5月例会のご案内

日 時： 2016年 5月 8日（日）13：30～17：00

会 場： 京都教育大学 CALL教室（1号館B棟4階）  
（アクセスは<http://www.kyokyo-u.ac.jp/>から）

参加費： L E T会員・・・・・・・・・・・・・・・・・・無料  
京都外国語大学英語教育研究会会員・・・・300円  
学生・・・・200円  
一般・・・・500円

問い合わせ先： 西本有逸（京都教育大学） yuitsu@kyokyo-u.ac.jp  
鈴木寿一（京都外国語大学） juichisuzuki0011@gmail.com

13：10～ 受付  
13：30 開会

### 英語教育と Education2030

京都教育大学 西本有逸

時には英語教育を大所高所から捉えることは大切であると考えています。今回は世界の教育の潮流で最もホットなトピックである Education2030 を取り上げます。OECD が推進する Education2030 は、知識(knowledge)・技能(skills)・人間性(character)を一体的に捉え、これからの時代に求められる能力(competencies)を検討しています。

Knowledge (“What we know”):

Traditional (Math/Language/etc.), Modern (Robotics/Entrepreneurship/etc.)

Skills (“How we use what we know”)

Creativity/Critical Thinking/Communication/Collaboration

Character (“How we engage in the world”)

Mindfulness/Curiosity/Courage/Resilience/Ethics/Leadership

一瞥して知識と技能が認識論(epistemology)に、人間性が存在論(ontology)に関係するのがおわかりでしょう。さて、英語教育はどのような貢献ができるのでしょうか。参会の皆さんと考えたいと思います。

途中休憩

## 協同学習における他者性への応答—比較表現（京都の魅力を伝えよう）

京都教育大学附属京都小中学校 内貴真美子

「協同学習における自己表現活動」について実践報告をいたします。単元は中学2年生比較表現です。

場面設定は、世界で最も魅力的な都市ランキング（米誌トラベルアンドトレジャー）において2年連続見事1位に輝いた「京都」の魅力を1. 食文化, 2. 文化施設, 3. 世界遺産, 4. 庭園, 5. 神秘的な観光地, 6. 祭の6つの観点から、生徒たちが発信します。また、単に京都の魅力を伝えるだけではなく、自分たちの意見を組み込みながら、海外の人気観光都市（パリ, アムステルダム, ロスアンゼルス, バルセロナ, ナポリ, バンコク）と比較することによって、より説得力のある「京都の魅力紹介」を目指しました。

授業のポイントは「他者性」「協同学習」「アウトプット」です。他者を通して、新たな見解に気づく生徒の姿、あるいは他者による反論に対抗する生徒の姿は、他者の存在があるからこそ認識できる「自分の存在」です。つまり、「京都」についての感じ方や表現の仕方が、人によって異なるということを生徒達が他者（海外6都市の人々）の様々な意見を通して、学ぶ授業を目指しました。

そのまま、またはアレンジをしながら、先生方の現場で試していただける授業内容となっております。

17:00 閉会

**お願い：** 最近、メールアドレスを変更される方が増えておりますため、案内をお送りしても100名分以上が戻って来ます。今後、メールアドレスを変更される場合は [juichisuzuki0011@gmail.com](mailto:juichisuzuki0011@gmail.com) までお知らせください。

今後の予定：諸般の事情で日程・会場が変わる可能性もあります。

7月10日（日）例会	高田哲朗先生	於）京都教育大学
10月9日（日）例会	佐古孝義先生	於）京都教育大学
12月11日（日）例会		於）京都教育大学
1月8日（日）例会		於）京都教育大学

3月18日（土）・19日（日）  
第23回中学高校教員のための英語教育セミナー 於）キャンパスプラザ京都